

夜よ、こんにちは (2003)

BUONGIORNO, NOTTE
GOOD MORNING, NIGHT

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス 犯罪

製作国 イタリア

色彩 Color

時間 105分

初公開日 2006/04/29

公開情報 ビターズ・エンド

【キャッチコピー】

私は信じる。

きっと

自由になる日が来ると。

1978年、ローマ。

これはイタリア最大の事件と呼ばれた「事実」に基づいた物語である。

【解説】

イタリアの巨匠マルコ・ベロッキオ監督が、イタリア最大の事件と呼ばれたモロ元首相誘拐暗殺事件を犯人側の視点から描いた社会派人間ドラマ。史実とフィクションを織り交ぜ、暴力で社会を変えようとするものの無意味さを浮き彫りにしていく。

1978年3月16日、極左武装集団“赤い旅団”がイタリアのアルド・モロ元首相を誘拐、声明文を政府に送りつける。人質はアパートの一室に監禁され、その世話を唯一の女性メンバー、キアラが受け持った。テレビはこの事件を大きく取り上げるが、メンバーたちは、自分たちの行動が社会から支持されていないことを知り、次第に苛立ちを募らせていく…。

【クレジット】

監督	マルコ・ベロッキオ	Marco Bellocchio	
製作	マルコ・ベロッキオ	Marco Bellocchio	
	セルジオ・ペローネ	Sergio Pelone	
原作	アンナ・ラウラ・ブラゲッティ		
	パオラ・タヴェラ		
脚本	マルコ・ベロッキオ	Marco Bellocchio	
撮影	パスクァーレ・マリ	Pasquale Mari	
プロダクションデザイン	マルコ・デンティッチ	Marco Dentici	
衣装デザイン	セルジョ・バッコ	Sergio Ballo	
編集	フランチェスカ・カルヴェリ	Francesca Calvelli	
音楽	リカルド・ジャーニ	Riccardo Giagni	
出演	マヤ・サンサ	Maya Sansa	キアラ
	ルイジ・ロ・カーシヨ	Luigi Lo Cascio	マリアーノ
	ロベルト・エルリツカ	Roberto Herlitzka	アルド・モロ
	ピエール・ジョルジョ・ベロッキオ	Pier Giorgio Bellocchio	エルネスト
	ジョヴァンニ・カルカーニョ	Giovanni Calcagno	プリモ

